

ブレーメン経済工科大学  
交換留学報告書

静岡県立大学 国際関係学部

国際言語文化学科 3年 ヨーロッパ文化コース

私は、約1年間ドイツのブレーメン経済工科大学に留学させていただきました。ドイツでの留学の目的は主に二つありました。一つは、一年生の時から履修していたドイツ語の上達、もう一つは、ヨーロッパの文化や歴史、政治などに、大学入学当初から興味があったため、大学で今まで学んだ知識を基に自分の考えをより深めることでした。これらの目的を踏まえて、私がこの留学で経験してきたことを報告します。

まず、学校生活について授業と課外活動の二つの面から述べたいと思います。授業は、週二回ドイツ語のコースがあり、その他にはEUとドイツの歴史、多文化コミュニケーションやジェンダーなどの授業を受講しました。また、日本では学んだことがなかったマーケティングにも挑戦しました。ドイツ語のコースは、初めは日本で身につけた自分のドイツ語のレベルが低く、ギャップを感じ苦労しましたが、努力すればするほど、次第に授業の理解度が上がっていくのを感じられました。ドイツ語のコース以外の授業はすべて英語で行われましたが、様々な国から来た留学生たちとのディスカッションを通して、自分の視野を広げることができました。特に面白かったのはEUとドイツの歴史についての授業です。静岡県立大学でも1・2年生の間でこのテーマについて多くの知識を身につけましたが、ヨーロッパの学生達が、自分たちが持つ歴史としてどのようにEUを認識しているのか、様々な意見を聞くことができた

ので興味深かったです。

授業の合間の長い休み時間や放課後には、タンデムを行いました。タンデムとは言語交換のことで、日本語を勉強しているドイツ人の学生と会話をしたり、お互いが学んでいる言語の分からないところを教え合ったりします。わたしは5人タンデムパートナーがいたので、ほぼ毎日タンデムを行っていました。冬にゲーティンスティチュートのドイツ語検定試験を受験したのですが、タンデムパートナーが親身に手伝ってくれたおかげで合格することができました。ドイツ語の上達だけでなく、日常生活でも困ったことがあれば相談して助けてもらえたので、とても心強かったです。今年の秋にはドイツの学生が日本に留学に来るので、わたしも彼らにとって頼りがいのある存在になれるといいです。

次に、長期休暇など学校のない日の過ごし方について述べたいと思います。夏休みと冬休み合わせて4か月ほどの長期休暇は、授業の予習・復習やドイツ語の自習などをして過ごしました。ドイツに住んでいるとはいえ、夏休みは3か月間ドイツ語の授業もタンデムもなかったので、半年間かけて身につけたドイツ語を衰えさせないために、自習を意識的にやることを目標にしていました。自分が決めた計画通りに過ごせた一日もあれば、怠けて過ごしてしまった一日もありました。自由に使える時間があればあるほど、その時間を使っ

た結果や達成感には、自分自身に責任があるのだということを感じました。また、大みそかにはタンデムパートナーの実家に招待してもらいました。ドイツの年越しをドイツ人の家族とともに過ごすことができ、なかなか体験できない貴重な年越しを過ごすことができました。

長期休み中に行ったことがもう一つあります。それは旅行です。ドイツはヨーロッパの中で経済面でも政治面でも重要な役割を果たしている国ですが、地理的にもヨーロッパの中心に位置しています。そのため、ヨーロッパの他の国々への旅行がしやすいです。私は、全部で10ヶ国以上を訪れました。限られた時間と資金の中で、できる限り充実した旅行にするために入念に計画を立てるなど、楽しいだけでなく、自分自身を成長させることができた旅行でした。各国でたくさんの美術館や博物館を訪れましたが、いままで高校・大学で学んできた歴史的な美術や遺産の数々に触れることができ、非常に感銘を受けました。特に鮮明に印象に残っているのは、ポーランドのアウシュビッツ絶滅収容所を訪れたことです。ドイツの歴史を勉強する上で欠かせないナチス政権下の悲しい記憶を、実際にその場に行って感じることができました。展示を見るたび、当時の悲惨さに胸が痛みましたが、それと同時に、昨今右傾化してきている国際社会に対して、もっと考えを巡らせなければならないと感じました。

ブレーメンは小さな都市ですが、私にとって魅力的な都市でした。戦前から残る市庁舎など、伝統が色濃く残っている面もあれば、難民の積極的な受け入れなど、現代世界が抱える問題にしっかり向き合っている面もあり、歴史の流れを感じられる場所でした。また、ブレーメン経済工科大学で出会った学生達は勉強に対する意識がとても高く、様々な問題に対して自分自身の考えをしっかりと持っていました。さらに、私の留学中にちょうどドイツで総選挙が行われたため、学生達や先生たちとドイツの政治について頻繁にディスカッションをしました。そんな恵まれた環境で一年間勉強できたことを嬉しく思うと同時に、支えてくださった方々に感謝したいです。今まで述べたように、一年間のブレーメン経済工科大学での留学を通して、留学前に掲げていた目標の達成のみならず、それ以上の経験を得ることができました。この一年間で身につけた語学力や知識をさらに磨き、それを活かして社会に少しでも貢献できるよう、これからも努力したいです。